

平成27年度新規事業の一覧表

課名	事業名	事業の全体概要	平成27年度の主な事業内容(新編分)	平成27年度の事業費(要約)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費(第2回)	優先度(第3回、1月9日現在)とその理由	事業費(第3回)	優先度(第4回、1月29日現在)とその理由	事業費(第4回)
1	文書情報管理課	電算システムの運用	サービス水準の維持・向上や安定稼働を図りながら電算システムの運用を行う。27年度は、コンピュータや関連機器等の安定稼働のために設置している2台の空調設備のうち、老朽化している1台を更新する。	6,211千円	AB	事業の必要性は高いが、28年度以降に実施	0千円	AB	同左	0千円	0千円
2	文書情報管理課	社会保障・税番号制度の導入	28年1月からの社会保障・税番号制度の個人番号利用開始に向けて、既存システムの改修や新しいシステムを導入するとともに、個人番号カード用統合端末を増設する。	90,026千円	A	事業の必要性は高い	90,026千円	A	同左	90,026千円	90,026千円
3	秘書広報課	栄典事務(市制45周年記念事業)	地方自治の発展に貢献し功績のあった人を叙勲等に推薦する。27年度は市制施行45周年を迎えるため、記念式典を実施し、市政功労者の表彰を行うほか、オリジナルフレーム切手を作成する。	3,673千円	A	事業の必要性は高い	3,423千円	A	同左	3,423千円	3,423千円
4	秘書広報課	ホームページの管理・充実	市民の生活に密着したさまざまな情報をホームページで積極的に提供・発信するため、27年度に、新たなホームページ管理システムを導入する。	28,413千円	A	事業の必要性は高い 「がんばろう！千葉」市町村復興基金交付金を活用して実施	28,413千円	A	同左	28,413千円	28,413千円
5	秘書広報課	若者定住化に向けての情報発信力の強化	若い世代の定住化を促進するため、市の魅力を市内外に積極的かつ効果的に発信する。27年度は、さらに市の知名度を上げ、イメージアップを図るため、テレビやラジオ、インターネットを活用した広報戦略を展開する。	15,220千円	A	事業の必要性は高い	11,000千円	A	同左	11,000千円	11,000千円
6	秘書広報課	総合教育会議運営事務	27年度から新たに市長と教育委員会で構成する総合教育会議を設置し、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進する。27年度は、教育に関する「大綱」を策定するほか、総合教育会議を開催する。	195千円	A	事業の必要性は高い	195千円	A	同左	195千円	195千円
7	秘書広報課	eモニター制度	市民と市が情報を共有できるよう、広く市民の意見や要望を聴く機会の充実を図る。27年度は、インターネットを活用したアンケート方式のeモニターを導入する。	2,064千円	A	事業の必要性は高い	2,064千円	A	同左	2,064千円	2,064千円
8	施設管理課	庁舎維持管理	庁舎内施設の維持補修や庁舎内施設設備機器の保守点検管理など庁舎全般の維持管理を行う。27年度は、来庁者が庁舎を安全かつ快適に利用できるよう本庁舎にエレベーターを設置するため、工事設計を行う。また、本庁舎に太陽光発電設備を設置し、「あびこエコ・プロジェクト3」を推進する。	66,476千円	A	事業の必要性は高い	62,465千円	A	同左	62,465千円	62,465千円
9	施設管理課	財産管理	適切な草刈や樹木剪定などの環境整備を行い、市有財産を良好な状態に保つ。また、利用目的のない普通財産の売却を積極的に進めていくため、提案型公共サービス民営化制度の提案に基づき、財産売却の補助業務を民間に委託する。	6,016千円	A	事業の必要性は高い	5,012千円	A	同左	5,012千円	5,012千円
10	施設管理課	公共施設等包括管理委託業務	コストの削減と業務の効率化を図るため、公共施設68施設の包括管理委託を行う。27年度は、提案型公共サービス民営化制度による提案に基づき、定期点検等の管理項目を増やすとともに、点検の内容を施設保全台帳システムに入力する業務を包括管理委託に追加する。	1,527千円	A	事業の必要性は高い	1,527千円	A	同左	1,527千円	1,527千円
11	企画課	平和事業の実施(市制45周年記念事業)	市民や市民団体と連携しながら、戦争や原爆の記憶を次世代に伝えることにより、多くの人に平和の尊さへの思いを強めてもらう。27年度は、戦後70年目を迎える。戦後70年市庁舎から30年となるため、広島市に派遣する中学生の人数を増やすとともに、記念事業を実施する。	2,975千円	A	事業の必要性は高い 国際・平和交流推進基金を活用して実施	2,975千円	A	同左	2,975千円	2,975千円

年度	課名	事業名	事業の全体概要	平成27年度の主な事業内容(新編分)	平成27年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費(第2回)	優先度(第3回、1月9日現在)とその理由	事業費(第3回)	優先度(第4回、1月29日現在)とその理由	事業費(第4回)
12	企画課	湖北台地区公共施設整備の検討	湖北台地区の老朽化した公共施設の整備に向けた整備方針をとり整備を進める。27年度は、整備用地の測量や用地買収などを行う。		18,130千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	15,493千円	A 同左	15,493千円	A 同左	15,493千円
13	企画課	第三次基本計画の策定	現基本構想が掲げるまちづくりの基本的な考え方を前提に、第二次基本計画(計画期間:20~27年度)の成果を踏まえ、第三次基本計画を策定する。		10,334千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	8,224千円	A 同左	8,224千円	A 同左	8,224千円
14	企画課	若い世代の定住化の促進	まちの活性化を図るため、子育て支援や交通の利便性向上など、若い世代にとって魅力ある施策を展開し、定住化を図る。27年度は、転入・転出者に対するアンケート調査の分析を行う。		211千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	211千円	A 同左	211千円	A 同左	211千円
15	企画課	公共施設等総合管理計画の策定と推進	26年度に策定した公共施設等総合管理計画を随時見直し、精度を高めていく。全庁的な取り組みが必要であることから、27年度は、講師を招いて講習会を開催するとともに、先進地への視察を実施する。		110千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	110千円	A 同左	110千円	A 同左	110千円
16	財政課	ふるさと納税の推進	歳入確保のため、ふるさと納税により我孫子市を応援してくれる納税者が増加するよう、寄附金の申し込みや納付手続きを改善する。また、寄附者に対するお礼として我孫子市の特産品等を贈り、特産品のPRを図る。		73千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 我孫子市特産品は、制度設計後に補正で対応	73千円	A 同左	73千円	A 同左	73千円
17	課税課	家屋の調査・評価	家屋の現地調査を通じて、税の適正な課税のための調査を行う。固定資産税を公平かつ適正に課税するため、評価替えに合わせて撮影する航空写真や地審図などを活用し、現況と課税台帳上の情報との照合を行う。		6,210千円	AB 事業の必要性は高いが、28年度以降に実施 調査後の対応も含めて要検討すること	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
18	収税課	番号制度導入に伴う滞納管理システム改修	28年1月からの社会保障・税番号制度の個人番号利用開始に向けて、滞納管理システムに個人番号を連携させる。		3,240千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	2,970千円	A 同左	2,970千円	A 同左	2,970千円
19	市民課	個人番号カードの交付業務	27年10月時点で住民票を有する全ての市民に個人番号の付番・通知を行う。また、28年1月からの個人番号カードの交付に伴いカード印字システムを導入するとともに、個人番号制度全般に関する電話対応を行うため、コールセンターへ委託する。		20,061千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	17,773千円	A 同左	11,758千円	A 事業の必要性は高い 個人番号カード交付通知書の封筒代と発送業務費は、額確定後に補正で対応	8,330千円
20	市民課	住居表示の再付番の実施(本町)	我孫子駅前土地区画整理事業に伴い、本町地区の町界が不明確であるため、再住居表示を実施する。		1,485千円	AB 事業の必要性は高いが、28年度以降に実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
21	市民課	行政サービスセンターAED配置(長期継続契約)	センター利用者等の緊急時に対応するため、市内4箇所の行政サービスセンターにAEDを配置する。		255千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 経常経費で対応	0千円	A 同左	0千円	A 同左	0千円
22	市民課	布佐行政サービスセンター下水道接続及び浄化槽撤去工事	浄化槽の老朽化に対応するため、布佐行政サービスセンターの下水管を公共下水道本管へ接続し、浄化槽の撤去を行う。		13,470千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い JRとの協議が整い次第補正で対応	0千円	A 同左	0千円	A 同左	0千円
23	市民課	総合窓口の運用業務	行政暴力に対応するため、7つの各行政サービスセンターへ防犯カメラを設置し、職員が危険と判断した場合は、2つで警察や警備会社へ通報する。昨年度の4箇所に続き、今年度は残りの3箇所に設置する。		292千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	292千円	A 同左	292千円	A 同左	292千円
24	市民活動支援課	市民プラザの施設運営	利用者がより快適に利用できるよう、指定管理者により市民プラザの維持管理を行う。27年度は、事務所スペースを会議室に改修し、利用者の利便性を高める。		3,805千円	AB 事業の必要性は高いが、28年度以降に実施 貸主との協議を踏まえ対応	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円

事業番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成27年度の主な事業内容(新編分)	平成27年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費(第2回)	優先度(第3回、1月9日現在)とその理由	事業費(第3回)	優先度(第4回、1月29日現在)とその理由	事業費(第4回)
25	市民活動支援課	市民・近隣センター等施設維持管理	近隣センターなどのコミュニティ施設の利用者が快適に利用できるよう、施設の維持管理や修繕を行うとともに、省エネルギー照明や空調設備を順次導入する。	・布佐南近隣センター空調設備更新工事(工事・設計・監理業務委託) ・LED化工事(天王台北、根戸、湖北台) ・机・椅子購入(布佐南・天王台北・根戸・新木・湖北台) ・近隣センター全館にタブレット端末・無線ルーター購入 ・湖北台10丁目集会所用地フェンス修繕 ・我孫子南近隣センター音響・映像設備取替修繕	35,304千円	A	A	21,486千円	A	21,487千円	A	21,487千円
26	市民活動支援課	けやきプラザ11階の施設運営	けやきプラザ11階の施設を当面フリースペースとして暫定利用する。また、一層の有効活用を図るため、施設活用の検討結果を踏まえた新たな施設活用を行う。	・管理・清掃委託 ・修繕 ・消耗品 ・検討結果を踏まえた活用(未定)	1,709千円	A	A	1,709千円	A	1,709千円	A	1,709千円
27	市民活動支援課	市民活動ステーション指定管理者に対する労働条件審査の実施	我孫子市民活動ステーション指定管理者のもとで働く労働者等の労働条件について、専門知識を有する千葉県社会保険労務士会が調査し、改善すべき点が見つかった場合は、改善を加えていく。	・指定管理者の労働条件審査委託	216千円	AB	AB	0千円	AB	0千円	AB	0千円
28	市民安全課	災害予防・初動対策事業	災害時の被害の軽減を図るため、気象状況を的確に把握するとともに、通信手段として確実性の高いインターネットを構築する。また、要支援者情報の把握と共有を図るため、避難行動要支援者名簿システムを導入する。	・避難行動要支援者システム導入委託 ・避難行動要支援者ダイレクトメール送付 ・避難行動要支援者名簿作成委託	11,655千円	A	A	10,462千円	A	10,462千円	A	10,462千円
29	市民安全課	防災情報伝達システムの管理運用	25年度から27年度にかけて、市内にある70箇所の子局をデジタル化するとともに、27年度に8局を新たに整備する。	・防災行政無線子局8局の設置更新 ・防災行政無線子局8局の新設	114,513千円	A	A	114,513千円	A	114,513千円	A	114,513千円
30	市民安全課	防災用施設及び非常用備蓄品整備事業	避難所や給水拠点などの強化を図るため、簡易防災井戸を高野山小と我孫子中に整備する。	・簡易防災井戸整備工事(高野山小、我孫子中)	1,739千円	A	A	1,739千円	A	1,739千円	A	1,739千円
31	市民安全課	自主防犯活動の支援	街頭における犯罪発生抑止等を図るため、防犯カメラを設置する。また、地域の防犯活動の一環として、防犯カメラを設置する地域団体に対し、補助金を交付する。	・防犯カメラ設置工事(3台) ・地域団体への防犯カメラ設置費の補助 ・防犯カメラ電気料(アピシルベ)	4,902千円	A	A	4,095千円	A	4,038千円	A	4,038千円
32	市民安全課	地域防災計画修正業務	東日本大震災の発災と現状を踏まえ、災害対策基本法や県の地域防災計画の見直しと整合を図り、全体的な計画修正を行う。また、災害時の被害を軽減させるため、洪水、浸水ハザードマップを作成する。	・我孫子市地域防災計画修正業務委託 ・我孫子市洪水、浸水ハザードマップ作成業務委託	8,586千円	A	A	8,157千円	A	8,157千円	A	8,157千円
33	市民安全課	交通安全思想の普及	観光PRキャラクター「手賀沼のうなぎちゃん」を用いた自転車用のプレートを作成し、TSマーク付帯保険加入者へ特典として配布する。	・交通安全プレート作成	200千円	A	A	200千円	A	200千円	A	200千円
34	社会福祉課	社会福祉協議会の運営支援	社会福祉協議会が後見支援センターを設置し、成年後見制度についての相談や申立などの支援事業を実施するに当たり、体制の安定性や継続性を支援するため、運営費の一部を補助する。	・後見支援センター運営の補助	3,343千円	A	A	3,343千円	A	2,500千円	A	2,500千円
35	社会福祉課	生活保護費の給付	生活に困窮する方に対して生活保護費を支給する。27年度は、マナーシート制度に対応するため、生活保護システムの改修を行う。	・生活保護システムの改修	6,048千円	A	A	6,048千円	A	6,048千円	A	6,048千円
36	社会福祉課	生活困窮者の自立への支援	特定の住居を持たない方に対して、一時的な宿泊場所を提供する一時生活支援事業を実施する。	・一時宿泊施設の借り上げ ・生活用品の貸し出し ・消耗品費 ・光熱水費 ・食糧費 ・保険料 ・更新料 ・修繕料	1,502千円	A	A	1,502千円	A	1,502千円	A	1,502千円
37	社会福祉課	平和祈念式典の開催と平和の記念碑の維持管理(市制45周年記念事業)	被爆の体験と記憶を後世に伝えていくため、原爆被爆者の会と共同で平和祈念式典を開催する。27年度は、戦後70年の節目にあたることから、広島市から分火した「平和の灯」のガス灯を設置する。	・平和の灯の設置	2,952千円	A	A	2,952千円	A	2,952千円	A	2,952千円

種別番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成27年度の主な事業内容(新編分)	平成27年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費(第2回)	優先度(第3回、1月9日現在)とその理由	事業費(第3回)	優先度(第4回、1月29日現在)とその理由	事業費(第4回)
38	健康づくり支援課	健康管理システム開発・運営	市民の健(検)診の受診状況や相談事業の結果などを管理する「健康管理システム」について、国が予定しているマイナンバー制度に対応した新たなシステムを導入する。	・新たな健康管理システムの導入・運用	7,201千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	7,201千円	A 同左	7,201千円	A 同左	7,201千円
39	健康づくり支援課	休日診療所の運営	有事の際等に従事者や利用者が安全に避難できるよう、休日診療所の出入口を増設する。	・休日診療所出入口増設工事	767千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	767千円	A 同左	767千円	A 同左	767千円
40	健康づくり支援課	ママヘルプサービス等事業(少子化対策プロジェクト提案事業)	心身のケアや休養を要する産婦を産後ケアセンターや医療機関に宿泊させ、母体ケアや乳児ケアなどを実施する。	・産後ケアの実施(委託)	6,814千円	A 事業の必要性は高い 少子化対策検討プロジェクトチームの提案を踏まえ、実施内容について再検討すること	A 同左	3,410千円	A 同左	3,410千円	A 事業の必要性は高い	3,410千円
41	健康づくり支援課	ホールボディカウンタ測定費用の助成	原発事故の影響による内部被ばくの状況を把握するため、医療機関等においてホールボディカウンタ測定を受けた妊婦、乳幼児、小学生、中学生、高校生相当に対し、その費用の一部を助成する。	・ホールボディカウンタ測定費用の助成	148千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	148千円	A 同左	148千円	A 同左	148千円
42	健康づくり支援課	不妊治療費の助成	特定不妊治療への助成に加え、タイミング療法や人工授精などの一般不妊治療を受けた方に対して、1回の治療につき60,000円を上限に助成する。	・一般不妊治療に対する助成	6,507千円	AB 事業の必要性は高いが、28年度以降に実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
43	健康づくり支援課	小児のインフルエンザワクチン予防接種費用助成の拡大	インフルエンザの発症と感染者の拡大を予防するため、生後6か月から小学6年生を対象に、インフルエンザワクチンの接種費用の一部を助成する。27年度から、対象を中学生まで拡大して実施する。	・インフルエンザワクチン接種への助成(拡大分)	2,409千円	AB 事業の必要性は高いが、28年度以降に実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
44	健康づくり支援課	ロタウイルスワクチン予防接種費用の助成	乳児のロタウイルスによる感染性胃腸炎の発症と感染者の拡大を予防するため、ロタウイルスワクチンを接種した乳児の保護者に対し、その費用の一部を助成する。	・ロタウイルスワクチン接種への助成 ・臨時職員の増員(1名)	4,820千円	AB 事業の必要性は高いが、28年度以降に実施	AB 同左	0千円	A 事業の必要性は高い 臨時職員の増員は不採択とする	3,815千円	A 同左	3,815千円
45	健康づくり支援課	禁煙外来治療に対する助成(健康寿命延伸プロジェクト)	禁煙外来治療を完了した方に対し、その費用の一部を助成する。	・禁煙外来治療への助成	1,038千円	B 事業の必要性は高いが、緊急性が低い ため次期実施計画で検討	B 同左	0千円	B 同左	0千円	B 同左	0千円
46	健康づくり支援課	笑って免疫アップ事業(健康寿命延伸プロジェクト)	面白い川柳や標語、写真、漫画などを市民から投稿してもらい、広報やホームページに掲載する。また、笑いのコンテストを開催し、市民の投票によってグランプリを決定するとともに、コンテストで選ばれた作品を展示・掲載する。	・ポスター、チラシの印刷 ・講演会の開催など	1,830千円	B 事業の必要性は高いが、緊急性が低い ため次期実施計画で検討	B 同左	0千円	B 同左	0千円	B 同左	0千円
47	障害福祉支援課	権限移譲に伴う障害福祉サービス事業者指定事務	我孫子市に事業所を置く、障害福祉サービス事業者(原宅介護・短期入所・共同生活援助・相談支援事業)の監査や指定などに関する事務を行う。27年度は、県との連携が可能な事業所管理システムを導入する。	・事業所管理システムの導入、運用	1,134千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	1,134千円	A 同左	1,134千円	A 同左	1,134千円
48	障害福祉支援課	福祉手当の給付	重度の障害を持つ方に対し、福祉手当を支給する。27年度は、マイナンバー制度に対応するためのシステム改修を行う。	・障害福祉システムの改修	16,390千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	16,092千円	A 同左	16,092千円	A 同左	16,092千円
49	障害福祉支援課	重度障害者(児)医療費の助成	疾病又は負傷について保険医療を受けた重度の障害者(児)が医療機関で診療を受けた場合、保険診療による自己負担額を助成する。27年8月より、給付費の支払い方法を償還払いから現物給付に変更することに伴い、システムを改修する。	・重度障害者医療費助成システムの改修	2,947千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	2,947千円	A 同左	2,947千円	A 同左	2,947千円
50	障害福祉支援課	障害者支援施設等の整備・充実	グループホームの整備に対して補助金を交付する。また、財政負担を軽減するため、地域活動支援センターの法定移行を進めるにあたり、法定事業所としての要件を満たすために必要な施設整備に対して補助金を交付する。	・地域活動支援センター法定移行整備への補助(1箇所) ・グループホーム等整備事業への補助(1箇所)	28,530千円	A 事業の必要性は高い 社会福祉事業基金を活用して実施	A 同左	28,530千円	A 同左	13,960千円	A 同左	13,960千円
51	障害福祉センター	障害者福祉センターの維持管理	障害者福祉センター施設の維持管理を行う。訓練室での急激な温度変化によるヒートショックの発生を防ぐため、27年度から28年度にかけて廊下にエアコンを新設する。27年度は、工事に係る実施設計を行う。	・空調設備設置工事実施設計	1,275千円	AB 事業の必要性は高いが、28年度以降に実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円

種別	課名	事業名	事業の全体概要	平成27年度の主な事業内容(新編分)	平成27年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費(第2回)	優先度(第3回、1月9日現在)とその理由	事業費(第3回)	優先度(第4回、1月29日現在)とその理由	事業費(第4回)
52	あらかき園	あらかき園の利用者支援	利用者の障害の重度化・高齢化が進んでいることから、施設の拡張工事を実施し、現状よりも広い別棟スペースや排泄介助ができるトイレを整備する。27年度は、工事に係る実施設計を行う。	・施設改修工事実施設計	626千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	565千円	A 同左	565千円	A 同左	565千円
53	あらかき園	利用者送迎の充実	車イスでの送迎を希望する重度の利用者が増加しているため、新たにリフト付きワゴン車を購入し、運行する。	・リフト付きワゴン車の購入 ・運行管理業務委託	7,244千円	AB 事業の必要性は高いが、28年度以降に実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
54	高齢者支援課	老人福祉センターの運営	老人福祉センターつつじ荘と西部福祉センターの維持管理を行う。27年度は、老朽化に伴い、つつじ荘空調設備の一部改修を行うとともに、西部福祉センターの受水槽ポンプと風呂用ボイラーの一部改修を行う。	・つつじ荘空調設備の改修 ・西部福祉センターの受水槽ポンプ工事設計、工事、工事監理 ・西部福祉センターのボイラー改修工事	7,558千円	A 事業の必要性は高い 社会福祉事業基金を活用して実施	A 同左	7,558千円	A 同左	7,557千円	A 同左	7,557千円
55	高齢者支援課	高齢者支援台帳システムの導入 【介護保険特別会計】	要介護認定調査や相談事業に活用している在宅適正システムについて、新たなシステムを導入する。	・高齢者支援台帳システムの導入と運用(3か月分)	2,553千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	2,553千円	A 同左	2,904千円	A 同左	2,904千円
56	高齢者支援課	一次予防事業の推進 【介護保険特別会計】	骨折や転倒、関節疾患などに伴う生活機能の低下により、要介護状態になることを予防するため、健康の維持・増進につながる市の事業や、地域活動・ボランティア活動に活用できる地域情報などを掲載した冊子を作成する。	・高齢者向け情報冊子の作成(10,000部)	356千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	356千円	A 同左	356千円	A 同左	356千円
57	国保年金課	国保保健事業(データヘルス計画) 【国民健康保険事業特別会計】	医療情報等を活用しながら、PDCAサイクルに沿った効果的・効率的な保健事業を実施するため、データヘルス計画を策定し、28年度から計画に基づいた保健事業を実施する。また、保健事業の評価を行う。	・データヘルス計画医療費分析の実施 ・データヘルス計画書の作成	5,508千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	4,958千円	A 同左	4,958千円	A 同左	4,958千円
58	国保年金課	国民健康保険窓口業務等の委託 【国民健康保険事業特別会計】	窓口サービスの向上と業務の効率化を図るため、国民健康保険に係る基本的な事務を民間事業者へ委託して実施する。	・委託による窓口業務等の実施 ・各申請の入力業務	20,326千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	20,326千円	A 同左	20,326千円	A 同左	20,326千円
59	国保年金課	後期高齢者医療窓口業務等の委託 【後期高齢者医療特別会計】	窓口サービスの向上と業務の効率化を図るため、後期高齢者医療制度に係る基本的な事務を27年10月から民間事業者へ委託して実施する。	・委託による窓口業務等の実施	6,766千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	6,089千円	A 同左	6,089千円	A 同左	6,089千円
60	子ども支援課	子どもの居場所づくり	子どもたちが地域の方々と交流しながら安全に過ごせるよう、「子どもの居場所」を順次整備するとともに、必要な維持管理を行う。	・二小(8校目)、四小(9校目)あびっ子クラブの運営 ・高野山小(10校目)あびっ子クラブの整備、運営 ・11校目あびっ子クラブの実施設計 ・12校目以降のあびっ子クラブの整備についての検討 ・維持補修工事	36,931千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 社会福祉事業基金を活用して実施	32,492千円	A 同左	33,007千円	A 同左	33,007千円
61	子ども支援課	児童扶養手当の支給	ひとり親家庭を経済的に支援するため、児童扶養手当を支給する。27年度は、児童扶養手当支給システムについて、マイナンバー制度に対応するための改修を行う。	・児童扶養手当支給システムの改修	1,728千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	1,728千円	A 同左	1,728千円	A 同左	1,728千円
62	子ども支援課	学童保育室の運営	市内13小学校区に学童保育室を設置し、保育を行うとともに、保育室周りの樹木管理や、安全対策として窓ガラスへの飛散防止フィルムの取付など環境整備を行う。また、小学生の頃から保育を実施する私立幼稚園に対して補助金を交付する。	・四小学童保育室の運営 ・高野山小学童保育室周りの樹木剪定 ・二小飛散防止フィルムの取付 ・二小コルクマットの購入 ・四小、二小、新木小AEDリース ・維持補修工事 ・預かり保育を行う私立幼稚園への補助	38,115千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	34,086千円	A 同左	35,286千円	A 同左	35,286千円
63	子ども支援課	児童手当の支給	子育て世帯を経済的に支援するため、児童手当を支給する。27年度は、児童手当支給システムについて、マイナンバー制度に対応するための改修を行う。	・児童手当支給システムの改修	776千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	776千円	A 同左	776千円	A 同左	776千円
64	子ども支援課	婚活支援事業の拡大・充実(少子化対策プロジェクト提案事業)	少子化対策への対応や若い世代の定住人口を増やすため、我孫子市社会福祉協議会で実施している結婚相談事業を支援し、婚活イベントや相談の拡充を図る。	・結婚相談事業への補助(臨時職員・相談員人件費) ・備品購入 ・消耗品購入	1,933千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い	3,450千円	A 同左	1,778千円	A 同左	1,778千円

種別 番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成27年度の 主な事業内容(新編分)	平成27年度の 事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費 (第2回)	優先度(第3回、1月9日現在)とその理由	事業費 (第3回)	優先度(第4回、1月29日現在)とその理由	事業費 (第4回)
65	保育課	私立保育園・管外保育園 への保育実施委託	市内の私立保育園と市外の保育園に対し、保育の実施に係る費用について、園が定める保育単価に基づき委託料を支払う。27年度に開設する予定の小規模保育事業所「(仮称)びくしーらんど」に対して、新たに保育を委託する。	・小規模保育事業所「(仮称)びくしーらんど」への保育委託	13,000千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	13,000千円	A 同左	13,000千円	A 同左	13,000千円
66	保育課	私立保育園運営費補助金の交付	27年度に開設する予定の小規模保育事業所「(仮称)びくしーらんど」に対し運営費を補助し、保育士の確保を支援するため、保育士の宿舍借り上げを行う事業者に対して補助金を交付する。	・小規模保育事業所「(仮称)びくしーらんど」の運営費の補助 ・保育士の宿舍借り上げへの補助	8,600千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	8,600千円	A 同左	8,600千円	A 同左	8,600千円
67	保育課	子育て支援サービス利用者へのコーディネートの推進	保育園や幼稚園、子育て支援サークルなどの団体との連携を図り、子育てに関する情報の提供やサービスの斡旋を行う。27年度は、嘱託職員を1名増員し、SNSを活用した積極的な情報を発信していく。	・嘱託職員の増員(1名)	2,135千円	B 事業の必要性は高いが、緊急性が低い ため次期実施計画で検討	B 同左	0千円	B 同左	0千円	B 同左	0千円
68	保育課	寿保育園空調設備改修工事	26年度に工事を実施した新築棟2階と1階事務室を除く園舎全室内の空調設備と天井等の改修工事を実施する。	・新築棟2階を除く園舎全室内の空調設備と天井等の改修工事 ・工事監理 ・給食の外部委託	48,883千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 社会福祉事業基金を活用して実施	48,883千円	A 同左	48,883千円	A 同左	48,883千円
69	保育課	保育園・幼稚園の放射線対策	保育園・幼稚園で、放射線量低減策を実施する基準(地上5cmでの空間放射線量が毎時0.23マイクロシーベルト)を超える場合に、園庭表土の削り取りなどの放射線量低減策を実施する。また、保育園の給食の食材検査と給食1週間分の丸ごと検査を実施する。	・保育園給食の食材検査の実施 ・給食丸ごと検査の実施 ・放射線量低減対策工事	2,205千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	2,205千円	A 同左	2,205千円	A 同左	2,205千円
70	保育課	私立保育園等施設整備への補助	千葉県安心こども基金を活用し、私立保育園や小規模保育事業所が行う施設整備に対して補助金を交付する。	・保育園や小規模保育事業所への補助(7箇所)	455,772千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 社会福祉事業基金を活用して実施	455,772千円	A 事業の必要性は高い 社会福祉事業基金を活用して実施	357,656千円	A 事業の必要性は高い 社会福祉事業基金を活用して実施 整備が決定していない小規模保育事業所4箇所分については、決定し次第補正で対応	357,656千円
71	保育課	市立保育園の民営化に向けての準備	29年度の東あびこ保育園、30年度の根戸保育園民営化に向けて、移管事業者選考委員会を開催するとともに、先進地の視察を行う。	・東あびこ保育園移管事業者選考委員会の開催 ・先進地視察	254千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	254千円	A 同左	254千円	A 同左	254千円
72	保育課	子ども・子育て新システムへの対応	子ども・子育て新制度における保育料の算出方法の変更や、マイナンバー制度の導入に対応するため、保育システムを改修する。	・保育システムの改修	8,986千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	8,480千円	A 同左	8,986千円	A 同左	8,986千円
73	保育課	市立保育園園舎内部の改修	老朽化が著しい保育園の床や扉、幼児用ロッカーなどの改修を計画的に進めていく。27年度は、寿保育園新築棟2階部分の内部改修工事に係る実施設計を行う。	・寿保育園新築棟2階部分の内部改修工事に係る実施設計	522千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	500千円	A 同左	500千円	A 同左	500千円
74	保育課	子育て交流フリーマーケット(定住化策検討プロジェクト)	「(仮称)子育て交流フェスタ」を開催し、フリーマーケットで不要となった子育て用品等のリサイクルを行い、子育てを支援する団体や子育て世代間の交流を促す。	・「(仮称)子育て交流フェスタ」の開催 ・「ママのゼロ円フリーマーケット」の開催	250千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	250千円	A 同左	250千円	A 同左	250千円
75	保育課	市立保育園の運営	27年度からスタートする次期子ども総合計画に基づき、基本目標の1つとして掲げる「配慮を必要とする子どもと家庭への支援」を進めるため、保育課に臨床心理士を新たに配置し、発達遅滞や児童虐待などの配慮を必要とする子どもを早期に発見し、適切に対応していく。	・臨床心理士(嘱託職員)の増員(1名)	5,087千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	5,087千円	A 同左	5,087千円	A 同左	5,087千円
76	子ども相談課	こども発達センターの施設整備	こども発達センターが地域の中核的な療育支援施設として、新たに放課後等デイサービスや保育所等訪問支援事業を実施していく必要があることから、新たな施設を現在の敷地内に整備する。27年度は、施設の整備工事を実施する。	・こども発達センター整備工事 ・工事監理委託 ・登記手数料 ・事前家庭調査	360,626千円	A 事業の必要性は高い 社会福祉事業基金を活用して実施	A 同左	360,626千円	A 同左	360,626千円	A 同左	360,626千円
77	こども発達センター	こども発達センター施設の維持管理	子どもと保護者が安全・快適に施設を利用できるよう、適切に維持管理する。27年度は、こども発達センター施設の整備に伴い、必要な備品や消耗品を購入する。	・備品や消耗品の購入など	10,194千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	7,171千円	A 同左	7,121千円	A 同左	7,121千円
78	手賀沼課	根戸・宿幹線排水路移設式沈殿槽の管理	老朽化の著しい根戸幹線排水路移設式沈殿槽を更新するため、27年度に設計を行う。	・根戸幹線排水路移設式沈殿槽設計委託	1,500千円	B 事業の必要性は高いが、緊急性が低い ため次期実施計画で検討	B 同左	0千円	B 同左	0千円	B 同左	0千円

順 番	課名	事業名	事業の全体概要	平成27年度の 主な事業内容(新編分)	平成27年度の 事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費 (第2回)	優先度(第3回、1月9日現在)とその理由	事業費 (第3回)	優先度(第4回、1月29日現在)とその理由	事業費 (第4回)
79	手賀沼課	環境学習の推進	手賀沼親水広場・鳥の博物館や環境レンジャーと連携し、小学生が対象の環境学習会を実施するため、学芸員・自然観察指導員などの嘱託職員を雇用する。	・嘱託職員の増員(1名)	2,520千円	AB 事業の必要性は高いが、28年度以降に実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	同左	0千円
80	手賀沼課	ジャパンバードフェスティバルの開催(市制45周年記念事業)	ジャパンバードフェスティバルは、27年度に15回目の開催となること、また、市制45周年でもあることから、記念事業を実施する。	・JBF負担金(市制45周年記念企画分)	500千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	400千円	A 同左	400千円	同左	400千円
81	手賀沼課	あびエコプロジェクトの推進	「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく地方公共団体の事務及び事業に係る「実行計画策定マニュアル」及び「温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン」に沿った第4次計画を策定する。	・第4次我孫子市地球温暖化対策実行計画策定業務委託	2,916千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	2,625千円	A 同左	2,625千円	同左	2,625千円
82	手賀沼課	公共施設の屋根調査	自然再生エネルギーの普及を図るため、公共施設50箇所を対象に、太陽光発電システムの導入の可能性について調査を行う。	・公共施設屋根調査50箇所	5,400千円	AB 事業の必要性は高いが、28年度以降に実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	同左	0千円
83	手賀沼課	親水広場の運営	親水広場の移譲から改修工事開始までの期間、水の館の管理運営を行う。	・水の館の管理運営	39,832千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	38,105千円	A 同左	38,106千円	同左	38,106千円
84	手賀沼課	親水広場施設改修事業	親水広場の移譲に伴い、改修工事を実施する。27年度は改修工事の実施設計を行う。	・改修工事実施設計委託 ・新規展示作成設計	21,000千円	A 事業の必要性は高い ふるさと手賀沼ふれあい計画推進基金を活用して実施	A 同左	21,000千円	A 同左	12,000千円	同左	12,000千円
85	クリーンセンター	ふれあい工場の運営管理事業	ふれあい工場の運営管理を行う。27年度は雨漏りによる屋根の修繕とともに、作業環境の悪化を防止するため、屋根の表面温度上昇を抑える塗装工事を行う。	・雨漏り、夏期高温防止修繕	3,211千円	A 事業の必要性は高い 雨漏りによる屋根の修繕のみ採択 修繕方法と額は精査すること	AB 事業の必要性は高いが、28年度以降に実施 費用対効果も含め要検討	0千円	AB 同左	0千円	同左	0千円
86	クリーンセンター	剪定花木等のチップ化事業(放射能対策)	公園・学校などの公共施設や一般家庭・事業所から出される剪定花木等をチップ化して利活用を図っているが、放射性物質に汚染されたことから、ストックヤードに一時保管するとともに委託して最終処分を行う。	・剪定花木・雑草等の収集運搬、破砕処理 ・ストックヤードの運搬処分 ・ストックヤード整備工事、工事整理 ・環境協力金 ・搬出重機リース ・嘱託職員の増員(1名)	410,763千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	410,763千円	A 同左	410,763千円	同左	410,763千円
87	クリーンセンター	資源回収・処理・売り払い業務	資源物の持ち去り防止対策として、資源回収車が市の委託車両であることが容易に判別できるように、我孫子市のPRキャラクターである手賀沼のうなぎちゃんシールを全車両の4面に添付する。	・シールの作成・添付(40台×4面)	1,821千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 2面分のみ採択	910千円	A 同左	910千円	同左	910千円
88	クリーンセンター	焼却灰処理事業(放射能対策)	焼却施設に保管している主灰と飛灰を中間処理し、リサイクルするとともに埋め立て処分を行う。	・消耗品購入(キレート材) ・飛灰ストック用ラックレンタル	21,615千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	21,415千円	A 同左	21,415千円	同左	21,415千円
89	クリーンセンター	廃棄物最終処分事業	市内公共施設の解体等で排出したPCB(ポリ塩化ビフェニール)を含む変圧器などの電気機器をクリーンセンターで保管してきたが、民間業者の処分施設が稼働開始したことから、微量PCB入りの電気機器から順次処分を行う。	・微量PCB汚染廃電気機器処分業務 ・絶縁油PCB分析業務	2,883千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	2,883千円	A 同左	2,883千円	同左	2,883千円
90	クリーンセンター	新規焼却施設の整備事業	我孫子市単独で新たなごみ処理施設を整備する。27年度は整備に向けて各種計画の策定と調査を実施する。	・循環型社会形成推進地域計画策定 ・廃棄物処理施設基本計画策定 ・一般廃棄物対策基本計画の中間見直し ・廃棄物処理方式選定委員会の開催	12,477千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	12,477千円	A 同左	12,477千円	同左	12,477千円
91	クリーンセンター	施設の運転維持管理事業(含む放射能対策)	焼却施設、粗大ごみ処理施設、終末処理施設の維持管理を行う。27年度は、老朽化している粗大ごみ処理施設のコンプレッションフィーダーの修繕を行う。	・運転維持管理(放射能対応) ・コンプレッションフィーダー整備修繕	37,787千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	37,143千円	A 同左	37,143千円	同左	37,143千円
92	クリーンセンター	震災廃棄物の放射線測定事業	焼却灰の放射線を高濃度にすると考えられる枝木や草などの放射線量を測定し、焼却量を調整することで、埋立等の基準値である8,000ベクレル/kgを下回る焼却灰を処理する。	・震災廃棄物放射線量測定分析業務委託	2,385千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	2,385千円	A 同左	2,385千円	同左	2,385千円

種別 番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成27年度の主な事業内容(新編分)	平成27年度の 事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費 (第2回)	優先度(第3回、1月9日現在)とその理由	事業費 (第3回)	優先度(第4回、1月29日現在)とその理由	事業費 (第4回)
93	商業観光課	食品等の放射性物質検査 (消費者対応)	市民が持ち込んだ食品等の放射性物質の簡易検査を行う。	・市内消費者の食品等の検査	3,001千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	3,001千円	A 同左	3,000千円	A 同左	3,000千円
94	商業観光課	観光PRキャラクター活用	グッズを作成・販売するなどして、観光PRキャラクターの認知度を高め、市の観光PRを強化していく。	・観光PRキャラクターグッズ作成(販売) ・手賀沼のうなぎさん商標登録(出願・登録)	2,580千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	2,061千円	A 同左	2,061千円	A 同左	2,061千円
95	商業観光課	観光振興計画の推進	観光振興計画に基づいた事業を推進していく。27年度は、手賀沼を活用した事業(カヌー・アウトドア)イベントを民間企業と連携して開催するとともに、イベントのチラシを作成する。	・手賀沼活用イベントのチラシ作成 ・民間企業との協議	103千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	103千円	A 同左	103千円	A 同左	103千円
96	企業立地推進課	企業が進出しやすい環境整備	28年度の実施に向け、企業立地奨励金制度の検討を行う。	・方針に基づく事業展開 ・立地奨励金制度の検討	0千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	0千円	A 同左	0千円	A 同左	0千円
97	企業立地推進課	起業・創業の支援	26年6月に国の認定を受けた創業支援事業計画に基づき、起業・創業者向けのシンポジウムや創業塾を実施する。	・関係機関協議 ・シンポジウムの開催	426千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	406千円	A 同左	406千円	A 同左	406千円
98	農政課	市民農園維持管理事業	日秀新田市民農園南側の水田に市民農園からの土砂が流入してしまうことから、法面対策工事を行う。	・日秀新田市民農園法面対策工事を行う。	1,389千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	1,389千円	A 同左	108千円	A 同左	108千円
99	農政課	手賀沼沿い農地の保全活用と農業者支援	手賀沼沿い農地活用計画に位置付けられた地区の農地活用を支援するため、農地条件の改良を行う。	・手賀沼沿い農業用排水施設等調査設計(高野山新田・我孫子新田) ・手賀沼沿い農業用排水施設等整備工事・工事整理(横戸新田)	151,019千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	151,019千円	A 同左	151,019千円	A 同左	151,019千円
100	農政課	農業拠点施設整備事業	農産物直売所を併設した農業拠点施設を整備する。27年度は整備工事の実施設計を行う。	・農業拠点施設整備工事実施設計業務委託	21,600千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い補助金の活用を検討	21,600千円	A 同左	16,000千円	A 同左	16,000千円
101	農政課	有機栽培等農業者支援事業	エコ農産物の認証手続きや農業・肥料の適正使用を支援するため、生産履歴の管理システム(ポジティブリスト制度対応)を導入する。	・生産履歴システム導入	3,780千円	AB 事業の必要性は高いが、農業拠点施設整備に合わせて実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
102	農政課	新規就農支援事業	新規就農者を育成・確保するための支援を行う。27年度は、新規就農者が共同で使用できる倉庫を整備し、保冷库を設置する。	・共同保冷库のリース ・電気使用料 ・倉庫設備工事	1,924千円	A 事業の必要性は高い保冷库は1台のみ採択	A 同左	1,186千円	A 同左	1,222千円	A 同左	1,222千円
103	農政課	農業にかかる放射能対策事業	原発事故による放射能の影響を確認するため、我孫子市産農産物の放射性物質検査や農地の空気を放射能の測定を行い、食の安全・安心の確保を行う。	・検査用消耗品の購入 ・分析器保守点検 ・廃棄物検査委員会委員報酬 ・参考人報償	264千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	264千円	A 同左	264千円	A 同左	264千円
104	農政課	転入者への農産物配布制度	定住化の促進と農業振興を図るため、我孫子市への転入者世帯に対し、市内で生産された農産物を配布する。	・農産物購入 ・引換券印刷・郵送 ・臨時職員賃金等	13,187千円	AB 事業の必要性は高いが、配布対象や内容など制度設計をしたうえで28年度以降に実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
105	放射能対策室	福島第一原発事故に伴う放射能汚染問題への対応	市民の不安を解消するため、大気中の放射線量などの測定データの公表、第2次放射能対策総合計画の進行管理、市民相談など総合的な放射能対策を推進する。	・測定器点検・校正 ・旅費・消耗品 ・公用車燃料 ・公用車車検代	1,517千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	1,516千円	A 同左	1,517千円	A 同左	1,517千円
106	道路課	街路灯の新設及び維持管理	市が管理する街路灯を年次計画に基づき設置管理していく。27年度は全ての街路灯をLED化する。	・街路灯LED化設置工事 ・街路灯調査	118,800千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高いリース方式で対応すること	33,480千円	A 同左	33,480千円	A 同左	33,480千円

課名	課名	事業名	事業の全体概要	平成27年度の主な事業内容(新編分)	平成27年度の事業費(要約)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費(第2回)	優先度(第3回、1月9日現在)とその理由	事業費(第3回)	優先度(第4回、1月29日現在)とその理由	事業費(第4回)
107	道路課	道路の維持補修	安全で快適に通行できる道路機能を確保するため、舗装および路面排水施設等、道路の維持補修を行う。27年度はつし野に位置する市道00-004号線、市道00-005号線、市道00-008号線の舗装修繕工事と主な市道の空洞調査、法面点検を行う。	・市道00-004号線舗装修繕工事 ・市道00-005号線舗装修繕工事 ・市道00-008号線舗装修繕工事 ・市道空洞調査 ・市道法面点検	45,000千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	44,600千円	A 同左	44,600千円	A 同左	44,600千円
108	道路課	道路の維持管理事業(土木センター)	道路用地・施設の適正な維持管理を行う。27年度は、現在、クリーンセンター用地内にある土木センターの移設を行う。また、老朽化したホイールローダの買い替えを行う。	・土木センター移設工事 ・ホイールローダ購入	38,652千円	A 事業の必要性は高い 土木センターについては移設先の都市計画変更を踏まえて実施	A 同左	8,652千円	A 同左	8,652千円	A 同左	8,652千円
109	道路課	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁長寿命化計画に基づき、市内にある117橋のうち、橋長15m以上のもの15橋、15m未満のもの50橋の橋幅、変化について調査点検し、人道橋2橋も含め計画的に修繕していく。また、橋梁の近接目視による定期点検の義務付けにより、5年に1度の定期点検を行う。	・橋りょう補修工事(柴崎橋、我湖1号橋、我湖6号橋) ・橋りょう補修設計(北新田3号橋、北新田5号橋) ・橋りょう点検(白山跨線橋)	58,000千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	57,300千円	A 事業の必要性は高い 橋りょう補修設計については28年度以降に実施	49,000千円	A 同左	49,000千円
110	道路課	道路の放射能対策	市内の放射線測定結果に基づき線量の高い地域で小中学校・保育園・幼稚園周辺及び通学路を優先に側溝土砂の撤去・清掃等の道路の放射線量の低減化対策を実施する。	・放射能低減対策 ・塵土処理 ・クレーン付きトラック備上げ	15,264千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	12,264千円	A 同左	12,264千円	A 同左	12,264千円
111	道路課	市道32-027号線(下ヶ戸地区)の拡幅	下ヶ戸地区の防災強化や良好な住環境を確保するため、狭あい道路の整備を行う。	・道路拡幅工事	15,000千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	15,000千円	A 同左	15,000千円	A 同左	15,000千円
112	道路課	中峠・古戸の道路整備	中峠・古戸地区の防災面の強化・快適な住環境を確保するため道路整備を行う。	・道路概略設計	3,800千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	3,400千円	A 同左	3,400千円	A 同左	3,400千円
113	交通課	手賀沼公園・久寺家線の整備	我孫子都市計画道路事業では、我孫子地区内を円滑に移動できる道路網を整備するため、国道6号から根戸新田・布佐下線間の都市計画道路「手賀沼公園・久寺家線」全長1,270mのうち未整備区間の延長520mの新設をする。27年度は引き続き用地買収に伴う地権者交渉と歩道整備などを行う。	・不動産鑑定・登記等 ・用地取得 ・物件移転補償・調査 ・道路改良工事 ・電柱移設補償	316,405千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	316,405千円	A 同左	327,397千円	A 同左	327,397千円
114	交通課	下新木路切道の改良	下新木路切及び路切に接続する両側市道を改良するため、地権者交渉を優先して歩道の拡幅用地を取得するとともに、延長200mの歩道整備を行い、円滑で安全な通行を確保する。	・地権者交渉 ・不動産鑑定・登記等 ・用地取得(債務負担) ・物件補償(債務負担) ・物件調査委託 ・買収用地維持管理工事	6,823千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	6,275千円	A 同左	6,275千円	A 同左	6,275千円
115	交通課	駅施設維持管理事業	平成11年度に策定した、「人にやさしい整備計画」に基づき整備されたエレベーター・エスカレーターや自由通路・トイレ等を適正に維持管理を行う。また、市民の利便を図るため、老朽化のみられる箇所の修繕を行う。	・メンテナンスデッキ修繕(JR負担金)	18,716千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	18,716千円	A 同左	18,716千円	A 同左	18,716千円
116	交通課	自転車駐車場の管理運営	自転車駐車場の管理運営を行う。27年度は、我孫子市屋内自転車駐車場一掃利用専用区画整備(改善・改修計画)に基づき、新三丁目自転車駐車場の改良工事(個別ラックスシステムの導入等)を行う。	・自転車駐車場改良工事(本町3丁目自転車駐車場)	8,100千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	7,700千円	A 同左	7,700千円	A 同左	7,700千円
117	交通課	各駅エレベーター・エスカレーター等の整備	平成11年度に策定した、「人にやさしい整備計画」に基づき、東我孫子駅を除く5駅にエレベーター及びエスカレーター等を設置する。27年度は新木駅の自由通路・駅舎工事等を行う。	・新木駅自由通路と南北口エレベーター・エスカレーター、駅舎、ラック内エレベーター設置工事費負担 ・新木駅自転車駐車場用地賃借 ・新木駅バリアフリー工事用地賃借	403,153千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	403,153千円	A 同左	403,153千円	A 同左	403,153千円
118	交通課	各駅構内エレベーターの整備への支援	JR東日本が東我孫子駅を除く市内5駅の構内にエレベーター等を整備する際に、整備費用の一部について補助金を支出する。27年度は新木駅構内EV導入及びバリアフリー通路設置工事に係る負担金を支出する。	・新木駅構内エレベーター導入及びバリアフリー通路設置工事(JR負担金)	12,700千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	12,700千円	A 同左	12,700千円	A 同左	12,700千円
119	交通課	地域公共交通総合連携計画の推進	基幹公共交通(鉄道・路線バス)ネットワークを軸としたあびバス路線の再編と新規路線の検討を行う。また、誰もが利用しやすい新たな公共交通導入を検討する。27年度は引き続き根戸ルートの実証運行を行い、東地区交通意識調査計画書を作成する。	・実証運行(根戸ルート) ・あびバス等運行調査(根戸ルート・東地区交通意識調査計画書作成)	12,590千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	12,090千円	A 事業の必要性は高い 東地区交通意識調査については、3・5・15号線根戸新田・布佐下線の整備状況を見ながら実施	12,090千円	A 同左	12,090千円
120	下水道課	我孫子3丁目の整備【公共下水道事業特別会計】	我孫子3丁目地区の公共下水道管渠を整備する。27年度は管渠布設に伴う舗装復旧を行う。	・舗装復旧工事(補助事業分) ・付帯工事	3,400千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	3,400千円	A 同左	3,400千円	A 同左	3,400千円

年度	課名	事業名	事業の全体概要	平成27年度の 事業内容(新編分)	平成27年度の 事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費 (第2回)	優先度(第3回、1月9日現在)とその理由	事業費 (第3回)	優先度(第4回、1月29日現在)とその理由	事業費 (第4回)
121	下水道課	中峠台の整備 【公共下水道事業特別会計】	中峠台地区の公共下水道管布設工事を行う。また、これを行うため支障物件の切廻しを行う。	・下水道管布設工事(補助事業分) ・舗装復旧工事(補助事業分) ・附帯工事 ・水道管切廻し工事 ・ガス管切廻し補償	102,430千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	102,430千円	A 同左	102,430千円	A 同左	102,430千円
122	下水道課	総合地震対策事業 【公共下水道事業特別会計】	我孫子市下水道総合地震対策整備計画に基づき、マンホール浮上防止対策及び避難所にマンホールトイレの設置を行う。	・耐震工事(マンホール浮上防止・補助) ・耐震工事(マンホールトイレ・補助) ・マンホールトイレ特別調査 ・付帯工事	28,620千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	28,620千円	A 同左	28,620千円	A 同左	28,620千円
123	下水道課	湖北駅前の整備 【公共下水道事業特別会計】	湖北駅西側地区の公共下水道整備工事を行う。	・下水道管布設工事(補助事業分) ・付帯工事 ・水道管切廻し工事 ・水道移設実施設計 ・修正設計	29,820千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	37,320千円	A 同左	29,820千円	A 同左	29,820千円
124	下水道課	中峠の整備 【公共下水道事業特別会計】	中峠地区の公共下水道管布設工事を行う。	・下水道管布設工事(補助事業分) ・付帯工事	48,760千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	48,760千円	A 同左	48,760千円	A 同左	48,760千円
125	下水道課	布佐駅南側地区の都市基盤整備(下水道) 【公共下水道事業特別会計】	布佐駅南側地区の公共下水道管布設工事を行う。また、これを行うため支障物件移設工事・家屋調査を行う。	・下水道管布設(補助事業分) ・付帯工事 ・水道管切廻し工事 ・実施設計(補助事業分) ・家屋事前調査 ・ガス管切廻し補償 ・支障物移設補償 ・家屋事後補償費積算 ・家屋補償 ・ガス工作物保安措置工事	230,312千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	230,312千円	A 同左	230,312千円	A 同左	230,312千円
126	下水道課	下ヶ戸地区の整備 【公共下水道特別会計】	下ヶ戸地区の下水道の整備を行う。27年度は基本設計を行う。	・基本設計(区画整理地区、西側地区)	31,860千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	31,860千円	A 同左	31,860千円	A 同左	31,860千円
127	下水道課	青山地区の流域下水道への接続事業 【公共下水道特別会計】	青山汚水集中ポンプ場の切替工事を行う。27年度は工事に係る実施設計を行う。	・青山ポンプ場切替実施設計(補助事業分) ・付帯工事	22,262千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	22,262千円	A 同左	22,262千円	A 同左	22,262千円
128	治水課	布佐排水区の整備 【公共下水道特別会計】	布佐地区東側の浸水被害を軽減させるため、内水を強制排水する布佐ポンプ場を排水区最下流部となる布佐樋管付近に築造する。27年度は雨水幹線の基本設計などを行う。	・道路復旧工事 ・雨水幹線基本設計 ・下水道事業計画変更業務 ・囃託登記	38,930千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	38,930千円	A 同左	38,930千円	A 同左	38,930千円
129	治水課	北新田境外排水路の改修 【公共下水道特別会計】	築崎排水区の浸水被害を軽減させるため、最下流になる北新田境外排水路改修を行う。	・水路改修工事(3/4) ・付帯工事 ・用地買収(3期) ・囃託登記 ・改良区清算金 ・特別調査	170,210千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	170,161千円	A 同左	170,161千円	A 同左	170,161千円
130	治水課	根戸排水区の整備	根戸排水区中流部に位置する雨久保地区の浸水被害を軽減させるため、抜本的な改修計画を立案、改修工事に向け検討を行うとともに、借地している出水被害地に洪水調整機能を有する排水施設を築造する。27年度は基礎調査などを行う。	・国道6号排水協議(国土交通省) ・排水整備計画協議(柏市) ・基礎調査	5,600千円	B 事業の必要性は高いが、緊急性が低い ため次期実施計画で検討	B 同左	0千円	B 同左	0千円	B 同左	0千円
131	治水課	若松第1～第5排水区の整備 【公共下水道特別会計】	若松地区手賀沼側区域の浸水被害を軽減させるため、5箇所の樋管の築造に合わせ、4箇所のポンプ場の改修や手賀沼に直接排水するバイパス管の布設工事を行う。また、若松地区の自然排水は、手賀沼の水位の影響を受けるため水位を管理している国との連携を図り浸水被害の軽減に努める。	・バイパス管工事(3-1工区)(交付金) ・雨水管工事(5工区)(交付金) ・付帯工事 ・ガス移設補償 ・下水・雨水移設工事 ・兼電移設負担金 ・家屋事前調査 ・特別調査	166,782千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い バイパス管工事については、28年度以降に実施	24,300千円	A 同左	24,300千円	A 同左	24,300千円
132	治水課	排水施設維持補修工事	排水施設の維持補修を行う。27年度は老朽化した中峠幹線の改修工事に向けて実施設計を行う。	・中峠幹線改修工事実施設計(386m) ・中峠幹線改修工事実施設計業務に伴う測量(386m)	11,500千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	11,500千円	A 同左	11,500千円	A 同左	11,500千円

年度	課名	事業名	事業の全体概要	平成27年度の 事業内容(新編分)	平成27年度の 事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費 (第2回)	優先度(第3回、1月9日現在)とその理由	事業費 (第3回)	優先度(第4回、1月29日現在)とその理由	事業費 (第4回)
133	治水課	関東排水区の整備(我孫子駅北口浸水対策事業) 【公共下水道特別会計】	我孫子4丁目地区の浸水被害を軽減させるため、下水道浸水被害総合計画に基づき調整池築造等を行い、治水安全度の向上を図る。	・調整池築造工事 ・付帯工事 ・家屋事前調査 ・水道管移設工事 ・汚水管移設工事 ・支障物移転補償(ガス) ・価格特別調査 ・東電移設補償費	459,430千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	459,262千円	A 同左	459,262千円	A 同左	459,262千円
134	治水課	久寺家第1排水区の整備 【公共下水道特別会計】	久寺家1丁目、2丁目地区浸水被害を軽減させるため、雨水排水施設の整備を行い、常設的な浸水被害発生を軽減させる。	・雨水管布設工事 ・附帯工事 ・支障物件移設工事(汚水・水道) ・道路復旧工事 ・特別調査 ・家屋事前・事後調査 ・家屋補償積算 ・家屋補償	154,362千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	154,352千円	A 同左	154,352千円	A 同左	154,352千円
135	治水課	天王台地区の整備(天王台6丁目地区浸水対策事業)	天王台6丁目の浸水被害を軽減させるため、雨水排水施設の整備を行い、水害の軽減を図る。27年度は公園内に暫定的に設置する浸透貯留施設の築造工事などを行う。	・公園内暫定浸透貯留施設築造工事 ・公園内暫定浸透貯留施設築造工事に伴う附帯工事 ・東電移設負担金(電柱) ・家屋事後調査 ・補償費算定 ・家屋補償	82,143千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	46,573千円	A 同左	46,573千円	A 同左	46,573千円
136	治水課	雨水排水施設台帳の作成	我孫子市内の雨水排水施設を把握するため、既存資料や現地調査をもとに、雨水排水施設の形状、寸法、材質、施工時期などの調査を行う。その調査結果を整理し、雨水排水施設台帳及び台帳図を作成する。	・雨水排水施設台帳作成業務委託	138,240千円	B 事業の必要性は高いが、緊急性が低いため次期実施計画で検討	B 同左	0千円	B 同左	0千円	B 同左	0千円
137	都市計画課	景観形成情報発信・啓発事業	多くの市民に我孫子の魅力ある景観に関心をもち、良好な景観づくりにつなげていくため、景観に関する情報発信と啓発を継続的に進める。27年度は、24年度から選定してきた「我孫子の美しい八景」の普及・定着を図るため、26年度に提案型公共サービス民営化制度で提案のあった八景の散策会を実施する。	・我孫子のいろいろ八景散策会業務委託	593千円	A 事業の必要性は高い 委託内容について精査すること	A 事業の必要性は高い	564千円	A 同左	564千円	A 同左	564千円
138	建築住宅課	市営住宅の維持補修	市営住宅の良質化や安全性の向上を図るため、計画的に老朽施設の改修、バリアフリー化の推進などを行う。	・根古屋団地1・2号改修工事 ・根古屋団地1・2号改修工事管理 ・根古屋団地3・4号改修工事設計 ・小暮団地雨水貯留浸透施設調査	83,400千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	82,885千円	A 同左	82,885千円	A 同左	82,885千円
139	建築住宅課	市営住宅維持管理点検業務	入居者が快適に安心してらせるよう、市営住宅を適切に維持管理する。27年度は、提案型公共サービス民営化制度において、事業者から提案のあった入退居手続や家賃滞納者への督促、草刈・樹木管理などの業務を委託して実施する。	・市営住宅維持管理委託(窓口業務、収納事務、点検・維持管理等)	12,500千円	B 事業の必要性は高いが、緊急性が低いため次期実施計画で検討	B 同左	0千円	B 同左	0千円	B 同左	0千円
140	建築住宅課	災害支援補助事業(震災対応)	東日本大震災により被害を受けた建築物等の再建支援を行う。27年度から、液状化被害を受けた敷地に再建する建築主が、液状化対策を講じた場合に補助金を交付する。	・液状化対策補助金	42,500千円	A 事業の必要性は高い 災害対策基金を活用して実施	A 同左	42,500千円	A 同左	42,500千円	A 同左	42,500千円
141	公園緑地課	手賀沼沿い斜面林維持管理	「手賀沼沿い斜面林保全条例」に基づき、地権者の理解と協力を得ながら斜面林の保全を図る。指定緑地の所有者に対する支援を行うとともに取得した緑地における適切な維持管理を図る。27年度においては、手賀沼沿い斜面林の一部(590㎡)の用地取得をする。	・不動産鑑定 ・用地測量 ・用地取得	3,125千円	A 事業の必要性は高い 緑の基金を活用して実施	A 同左	3,125千円	A 同左	3,125千円	A 同左	3,125千円
142	公園緑地課	嘉納治五郎別荘跡地の整備・活用事業	都市緑地として整備を進めてきた嘉納治五郎別荘跡地に残る斜面林と敷地内の樹木の維持管理を行う。27年度は6年度に実施した樹木診断に基づき精密検査を要する樹木を検査し、治療方法を検討する。	・樹木治療業務委託(3本分)	661千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	661千円	A 同左	661千円	A 同左	661千円
143	公園緑地課	気象台記念公園の整備	多くの人が多目的に使える開放的な緑地空間や、気象に関する資料や顕微鏡を購入した岡田武松氏の記念館の土地利用の考え方を基本に、防災機能を有した公園として整備する。27年度は樹林地の樹木剪定を行う。	・樹林地の樹木管理(剪定)	3,500千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	3,150千円	A 同左	3,150千円	A 同左	3,150千円
144	公園緑地課	公園のバリアフリー化	公園の出入口や園路等のバリアフリー化の修繕工事を行い、快適な公園となるよう適正な維持管理を行う。	・つくし野4号公園バリアフリー化工事	47,442千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	36,062千円	A 同左	36,062千円	A 同左	36,062千円

課番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成27年度の主な事業内容(新編分)	平成27年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費(第2回)	優先度(第3回、1月9日現在)とその理由	事業費(第3回)	優先度(第4回、1月29日現在)とその理由	事業費(第4回)
145	公園緑地課	公園管理(樹木)	公園・緑地の樹木剪定・病害虫防除等の管理及び委託を行う。	・根戸船戸緑地病害樹木伐採(6本)	1,221千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	1,100千円	A 同左	1,100千円	A 同左	1,100千円
146	公園緑地課	公園管理(遊具・施設)	公園・緑地の遊具・施設について、危険性の高いものから計画的に修繕・工事を行うことにより適正な維持管理を行う。27年度は五本松公園の遊具撤去・設置工事及び新宿南公園の園路整備を行う。	・五本松公園遊具撤去・設置工事 ・新宿南公園園路整備工事	12,345千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	11,110千円	A 同左	11,110千円	A 同左	11,110千円
147	公園緑地課	公園の放射能対策	公園の空間放射線量を測定し、毎時0.23マイクローベルトを超える箇所について除染を実施する。	・放射線量測定業務委託 ・除染工事	7,003千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	7,003千円	A 同左	7,003千円	A 同左	7,003千円
148	地域整備課	布佐駅南側の都市基盤整備	布佐駅南側地区計画に基づき、布佐駅南側地区約1.7ヘクタールで、公園や道路等の都市基盤整備を行う。27年度は、東公園の工事、地区内道路の新設・改良工事などを行う。	・地区内道路の新設・改良(延長1,000m) ・東公園(1,000㎡) 及び耐震性防火水櫃の整備 ・都市計画道路及び地区内道路用地の取得	253,673千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	251,286千円	A 同左	251,286千円	A 同左	251,286千円
149	地域整備課	土地区画整理事業の業務全般	都市計画決定され、土地区画整理事業を施行済みの地区のうち、柴崎、天王台、中峠地区の事業の対象とならなかった一部未施行区域について都市計画の見直しを実施する。	・分筆登記 ・調査委託	2,000千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	2,000千円	A 同左	2,000千円	A 同左	2,000千円
150	地域整備課	我孫子駅前土地区画整理事業の推進	我孫子駅南側1.5ヘクタールの区域で土地区画整理事業を実施し、道路、駅前広場、公園などの公共施設や宅地を整備する。27年度は換地に向け側溝の布設工事を行う。	・借地権整理及び地区内外境界確認等業務 ・都市計画道路3・4・14号-3・5・16号(旧千葉銀行前)修正設計 ・都市計画道路3・4・14号-3・5・16号(旧千葉銀行前)改良工事	43,979千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	42,999千円	A 事業の必要性は高い 都市計画道路の修正設計及び改良工事については28年度以降に実施	6,588千円	A 同左	6,588千円
151	布佐東部地区復興対策室	布佐東部地区用地境界復旧事業	23年度に実施した用地境界再確定測量業務の測量成果と法務局備え付けの地図及び登記地籍を整合させるため、地籍整備型土地区画整理事業を実施する。	・地籍整備型土地区画整理事業委託 ・用地測量及び境界杭埋設業務委託 ・土地区画整理審査委員報酬	20,786千円	A 事業の必要性は高い 災害対策基金を活用して実施	A 同左	20,786千円	A 事業の必要性は高い	20,786千円	A 同左	20,786千円
152	布佐東部地区復興対策室	小規模住宅地区改良事業	布佐東部地区の復興を進めるため、不良住宅の除去と道路などの公共施設の再整備を行うとともに、都交差点から利根川堤防上に整備されている佐原・我孫子自転車道に安全にアクセスできるよう、歩行者・自転車通路を整備する。	・歩行者・自転車通路工事 ・用地測量及び境界埋設 ・協議図書作成業務委託	31,819千円	A 事業の必要性は高い 東日本大震災復興交付金基金を活用して実施	A 同左	31,819千円	A 同左	31,819千円	A 同左	31,819千円
153	布佐東部地区復興対策室	布佐東部地区復興拠点施設整備事業	液状化被害や集中豪雨による浸水被害が集中した布佐東部地区における復興のシンボル施設として、防災活動を含めた地域の様々な活動に活用できる多目的施設(復興支援センター)を整備する。	・復興拠点施設建設工事 ・復興拠点施設外構工事 ・工事監理 ・手数料	81,109千円	A 事業の必要性は高い 災害対策基金を活用して実施	A 同左	89,446千円	A 同左	81,109千円	A 同左	81,109千円
154	総務課	消防庁舎・装備の維持管理	災害時の活動拠点としての機能を発揮できるよう、庁舎や付帯設備を維持管理・補修する。27年度は救急隊の1隊増隊に伴い、仮眠室等が不足するため、施設の改修を行う。	・西消防署1階仮眠室新設工事 ・西消防署1階ロッカー室改修工事 ・西消防署1階食堂・休憩室改修工事	1,751千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	1,632千円	A 同左	1,632千円	A 同左	1,632千円
155	総務課	消防車両等の維持管理	消防活動を円滑に行うため、消防車両等を整備・管理し、消防体制の万全を図る。	・指令車1台の更新	7,124千円	AB 事業の必要性は高いが、28年度以降に実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
156	総務課	柏市・我孫子市消防通信指令業務の共同運用	迅速な災害対応を可能とするために、柏市と共同で機器の維持管理及びデータ更新を行いながら、必要な消防水利、災害弱者、危険物情報等の消防活動支援情報を活動部隊に提供する。	・消防情報指令システム更新委託負担金(債務負担) ・車載端末(AVIM)増設負担金	79,856千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	79,856千円	A 事業の必要性は高い 消防情報指令システムについてはリースで対応すること	986千円	A 事業の必要性は高い 消防情報指令システムについては分割で対応すること	986千円
157	警防課	消防団車両等の維持管理事務	火災等の災害に対応するため消防団車両の更新整備、消防団車両の維持管理を行う。27年度はポンプ車1台を更新する。	・ポンプ車1台の更新整備	19,581千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	19,581千円	A 同左	19,581千円	A 同左	19,581千円
158	警防課	救急・救助活動車両・資機材の整備・管理	救急・救助活動車両、資機材について、車両整備計画及び車両等の維持管理状況に基づき必要な整備、交換、修理を行う。	・高規格救急自動車の新規整備	43,128千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	41,128千円	A 同左	41,128千円	A 同左	41,128千円

年度	課名	事業名	事業の全体概要	平成27年度の主な事業内容(新編分)	平成27年度の事業量(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業量(第2回)	優先度(第3回、1月9日現在)とその理由	事業量(第3回)	優先度(第4回、1月29日現在)とその理由	事業量(第4回)	
159	(教育)総務課	小中学校施設の維持管理	児童・生徒が安全で安心して学べる環境を整えるため、校舎等施設の改修工事・修繕を行い、維持管理する。	・四小壁穴区画等改修工事 ・工事監理 ・布佐中都市ガス工事 ・湖北中パルコニー手摺改修工事 ・工事設計・監理委託 ・湖北台西小屋外壁防水工事 ・工事設計・監理委託 ・プール濾過装置交換工事(布佐小・湖北台中) ・工事設計・監理委託 ・大規模建築物耐震診断報告書作成	108,277千円	A 事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い プール濾過装置の交換は布佐小のみとし、湖北台中は28年度以降に検討	A	同左	A	同左	96,957千円
160	(教育)総務課	小中学校体育館の大規模改造	安全で快適な学習環境を整えるため、体育館の大規模改造工事を実施する。27年度は、湖北台中学校で、トイレ、外壁などの改修を行う。	・大規模改造工事(湖北台中) ・工事監理	145,305千円	A 事業の必要性は高い	A	同左	A	同左	A	同左	145,305千円
161	(教育)総務課	学校給食施設の改修	学校給食の安全を確保するため、今後老朽化が進んでくる給食設備を、計画的に改修する。	・学校給食施設のあり方の検討 ・給食棟給排気ダクト更新工事設計、監理委託(湖北台中) ・給食棟給排気ダクト更新工事(湖北台中)	11,475千円	A 事業の必要性は高い	A	同左	A	同左	A	同左	11,475千円
162	(教育)総務課	小中学校施設の放射能対策	放射能対策総合計画に基づき、放射線量の高い場所の除染を行う。	・放射線量低減対策の実施	10,000千円	A 事業の必要性は高い	A	同左	A	同左	A	同左	10,000千円
163	(教育)総務課	小中学校の教室環境の整備	学習環境と学習効率の向上を図るため、市内小中学校の普通教室と特別教室に、エアコンを設置する。	・中学校エアコン設置工事 ・工事監理 ・小学校エアコン設計委託	719,771千円	A 事業の必要性は高い	A	同左	A	同左	A	同左	719,771千円
164	学校教育課	スクールサポート教員の配置事業	児童生徒の個性に応じたきめ細やかな指導を行うため、学校の実情を踏まえながら、補助教員であるスクールサポート教員を配置する。	・小学校スクールサポート教員の増員(1名)	1,612千円	A 事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 県から加配教員が配置されないことを増員の条件とする	A	同左	A	同左	1,612千円
165	学校教育課	我孫子市学校保健会運営	学校保健に関する研究と学校保健活動の充実を図る。27年度は、食育・歯科保健活動の更なる充実のため、歯科衛生士を配置する。	・臨時雇員の配置(歯科衛生士) ・雇用保険	994千円	AB 事業の必要性は高い フッ素洗口の対応方針が確定した後に対応	AB	同左	AB	同左	AB	同左	0千円
166	学校教育課	学校給食備品管理事業	学校給食の円滑な運営と安全な実施を図るため、備品の維持管理を行う。	・都市ガスへの切り替えに伴う備品購入(布佐中) ・都市ガスへの切り替えに伴う熱量変更委託(布佐中)	2,043千円	A 事業の必要性は高い	A	同左	A	同左	A	同左	1,955千円
167	学校教育課	学校給食管理運営事業	給食食材の放射性物質検査を実施する。	・放射性物質測定分の食材購入 ・測定機器保守点検 ・外部委託検査	1,387千円	A 事業の必要性は高い	A	同左	A	同左	A	同左	1,387千円
168	学校教育課	小中学校管理運営事業	事務の省力化や予算の効率化を図るため、小中学校の光熱水費や消耗品など学校運営予算の一括管理・執行を行う。	・子どもの居場所光熱費(二小・四小・西新山小) ・中学校エアコン光熱費 ・中学校都市ガス代 ・ガス機器変更業務委託(布佐中)	11,918千円	A 事業の必要性は高い	A	同左	A	同左	A	同左	10,851千円
169	学校教育課	小中学校備品管理事業	小中学校の備品を適正に購入し、管理する。	・学級増に伴う備品購入(四小、湖北小、並木小、布佐中、久寺家中) ・老朽化に伴う備品購入(二小、湖北小、根戸小、湖北台西小、湖北中、我孫子中、久寺家中) ・一般放送設備の購入(三小、布佐南小、久寺家中、布佐中) ・体育館放送設備の購入(湖北小、湖北中) ・あびっ子クラブ推進に伴う備品購入(四小) ・小中学校備品システム改修 ・図書を購入	20,011千円	A 事業の必要性は高い 図書の購入については、教育振興基金を活用	A	事業の必要性は高い 図書の購入については教育振興基金を活用 小中学校備品システム改修と、一般放送設備のうち布佐南小、布佐中は28年度以降に検討	A	同左	A	同左	13,278千円

種別番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成27年度の主な事業内容(新編分)	平成27年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費(第2回)	優先度(第3回、1月9日現在)とその理由	事業費(第3回)	優先度(第4回、1月29日現在)とその理由	事業費(第4回)
170	学校教育課	学校給食施設設備整備事業	給食施設設備の整備と維持管理を行う。	・検収室修繕(二小) ・グレーチング修繕(三小)	2,637千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	2,505千円	A 同左	2,505千円	A 同左	2,505千円
171	指導課	国際理解教育の推進(ALT)	英語に興味関心を持ち、積極的に英語を活用しようとする児童生徒を育成するため、ALT(外国語指導助手)を配置する。	・ALTの増員(1名)	4,589千円	B 事業の必要性は高いが、緊急性が低いため次期実施計画で検討	B 同左	0千円	B 同左	0千円	B 同左	0千円
172	指導課	小中学校教師用教科書及び指導書の配布	教科書採択や学級増、少人数指導などの指導法改善に対応するため、教師用に教科書や指導書を配付する。	・小中学校教師用教科書と指導書の改訂版の購入 ・デジタル教科書の購入	38,131千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	38,131千円	A 同左	38,131千円	A 同左	38,131千円
173	指導課	小中学校コンピューター教育の推進	小中学校でコンピューター教育を推進するため、パソコン機器等、情報教育の環境の整備を図る。	・小中学校校務用パソコンの更新(336台) ・小中学校校務用パソコンの保守	10,139千円	A 事業の必要性は高い 2か年に分けて整備	A 同左	5,070千円	A 同左	5,070千円	A 同左	5,070千円
174	指導課	小中学校理数教育支援事業	理数教育の充実を図るため、市が理数教育サポーターを直接雇用し、配置する。	・理数教育サポーターの増員(1名)	921千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	921千円	A 同左	921千円	A 同左	921千円
175	指導課	学級経営の支援	学校生活の満足度を計るため、すべての小中学校でQ-U検査を実施する。27年度からは、事業仕分けの結果を受け、小学4・5・6年、中学2年生を対象に実施するほか、学級経営の研究指定をしている小学校4校と中学校1校で、小学1・2・3年と中学3年を対象に実施する。	・Q-U検査委託(校内研究分)	921千円	AB 事業の必要性は高いが、28年度以降に実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
176	指導課	小中一貫教育の推進	中1ギャップの解消や学力向上、豊かな人間性の育成などを図るため、小中学校を複単一体系的・継続的な教育を推進する。28年度の布衣中学校区での本格実施に向けて、27年度はモデル事業を実施し、カリキュラムや連携交流活動の検証を行う。	・ICT支援員の配置(1名) ・小中一貫ハンドブック作成 ・小中一貫カリキュラム冊子印刷(1000部) ・原動機付自転車の購入 ・タブレット端末収納庫の購入 ・バスの借上げ ・小中一貫教育全国連絡協議会負担金 ・小中一貫教育全国サミットへの参加	8,595千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 原動機付自転車の購入、小中一貫教育全国サミットへの参加以外を採択	A 同左	7,999千円	A 同左	A 同左	7,999千円
177	教育研究所	適応指導教室「ヤング手賀沼」の運営	長期欠席、不登校児童生徒の学校生活への復帰に向けた支援や指導を行うため、教育相談や支援体制の充実を図る。現在使用している建物の老朽化に伴い、適応指導教室を28年1月に移転し、連携が必要な教育研究所も、28年4月に同じ場所に移転する。	・適応指導教室、教育研究所移転先改修工事 ・工事監理 ・適応指導教室、教育研究所の移転 ・適応指導教室、教育研究所賃借 ・適応指導教室光熱水費 ・備品購入 ・AEDの購入	84,503千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い AEDの購入は経常経費で対応	50,000千円	A 事業の必要性は高い AEDの購入は経常経費で対応 27年度は、適応指導教室と教育研究所の移転について、手法を再検討すること AEDの購入は経常経費で対応	0千円	A 同左	0千円
178	生涯学習課	生涯学習センター施設管理業務	生涯学習センター「アビスタ」が安全で利用しやすい施設となるよう、施設設備の修繕や改修を計画的に行う。27年度は、ミニホールの照明を交換する。	・ミニホール照明交換	940千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	893千円	A 同左	893千円	A 同左	893千円
179	生涯学習課	湖北地区公民館指定管理者制度の運営	指定管理者に委託して湖北地区公民館の管理運営を行う。開館して20年以上が経過し、施設設備等の老朽化により不具合が発生しているため、計画的に施設や設備の更新や修繕を行う。	・空調設備更新工事(ホール・ロビー系統、学習室・調理室系統) ・工事監理 ・ホールピアノ修繕	219,519千円	A 事業の必要性は高い ホールピアノ修繕は不採択とする	A 事業の必要性は高い 空調設備更新はホール・ロビー系統のみ採択 ホールピアノ修繕は不採択とする	140,671千円	A 同左	140,671千円	A 同左	140,671千円
180	生涯学習課	生涯学習推進計画の見直し	27年度末に計画期間を終える第2次生涯学習推進計画について、社会教育推進計画と一本化し、第3次生涯学習推進計画を策定する。	・策定委員会の開催 ・策定委員研修の実施 ・策定支援業務委託	4,066千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	3,226千円	A 同左	3,226千円	A 同左	3,226千円
181	文化・スポーツ課	めるへん文庫	子どもたちが創作活動に親しみを持ち、豊かな感性を育むため、全国の小中高生から童話作品を募集する。表彰した優秀作品は、作品集として刊行する。	・審査委員報酬 ・消耗品の購入 ・印刷製本 ・筆耕翻訳 ・表紙、挿絵委託	731千円	A 事業の必要性は高い めるへん文庫基金を活用して実施	A 同左	731千円	A 同左	731千円	A 同左	731千円
182	文化・スポーツ課	体育施設維持補修(含む放射能対策)	市民が安全で快適に活動できるよう、体育施設の維持補修を適切に行う。	・ゲートボール場トイレ修繕 ・五本松運動広場立入防止柵の修繕 ・放射線量の測定	5,033千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	5,033千円	A 事業の必要性は高い ゲートボール場トイレについては、利用のない女性用は撤去し、これまで通りみどり園のトイレを利用すること スポーツ振興基金を活用して実施	3,489千円	A 同左	3,489千円

年度	課名	事業名	事業の全体概要	平成27年度の主な事業内容(新編分)	平成27年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費(第2回)	優先度(第3回、1月9日現在)とその理由	事業費(第3回)	優先度(第4回、1月29日現在)とその理由	事業費(第4回)	
183	文化・スポーツ課	文化財施設の管理・活用(含む手賀沼文化拠点)	手賀沼文化拠点整備計画に基づき、文化財の魅力を高め、多くの人にその価値を感じてもらおう。27年度は、湖北小学校にある郷土資料室の老朽化に伴い、展示物を湖北行政サービスセンター2階に移動し、展示する。	・展示ケースの製作委託 ・空調設備の撤去 ・臨時職員賃金(撤入・撤出)	5,247千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 文化財保存基金を活用して実施	3,730千円	A 同左	3,730千円	A 同左	3,730千円	
184	文化・スポーツ課	旧井上家住宅の保存と活用	市の指定文化財である旧井上家住宅の保存と活用を図る。	・表門、裏門、外塀修復工事 ・工事監理 ・二番土蔵実施設計 ・母屋耐震診断 ・現況報告書作成 ・電柱広告製作委託 ・電柱広告使用料	56,462千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 文化財保存基金を活用して実施 母屋耐震診断、現況報告書作成、電柱広告作成・実施については28年度以降に検討	52,266千円	A 同左	52,266千円	A 同左	事業の必要性は高い 文化財保存基金を活用して実施 母屋耐震診断、現況報告書作成については28年度以降に検討	52,266千円
185	文化・スポーツ課	市民体育館改修事業	市民体育館を安全に利用できるよう、老朽化した箇所を改修する。	・高圧ケーブル更新工事 ・サーバー室照明取替工事 ・教室及び放送室空調機器取替工事 ・メインアリーナ仕切りカーテン設置工事 ・設計委託、設置工事、工事監理 ・野球場及びテニスコート受変電設備機器更新工事 ・駐車場等照明器具増設工事 ・野球場バックスクリーン及びスコアボード設置設計委託	32,935千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い スポーツ振興基金を活用して実施 高圧ケーブル更新、受変電設備機器更新は28年度以降に検討 バックスクリーンとスコアボードは27年度に優先順位を検討すること	10,729千円	A 同左	10,729千円	A 同左	10,729千円	
186	文化・スポーツ課	市史調査研究	我孫子の歴史・文化遺産を把握・収集・記録し、後世に残していく。27年度は、和紙公園の修復を行う。	・和紙公園の修復	1,372千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 文化財保存基金を活用して実施	1,235千円	A 同左	1,235千円	A 同左	1,235千円	
187	文化・スポーツ課	学校体育施設の開放	市民が身近な場所で気軽にプールを楽しむことができる環境を整備するため、小学校の夏休み期間にプールを開放する。27年度は、一般開放実施校を2校増やして実施する。	・監視受付業務の委託(2校分の追加) ・備品(プールフロア2台)の購入 ・仮事務所(受付場所)の設置 ・臨時職員の配置(1名、7・8月)	6,761千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 監視受付業務委託は1校分のみ採択	3,199千円	A 同左	3,199千円	A 同左	3,199千円	
188	文化・スポーツ課	市民体育館の管理運営	市民体育館の適切な管理運営のため、指定管理者による管理運営を継続する。27年度は、提案型公共サービス民営化制度の提案を受け、指定管理者の労働条件審査を行う。	指定管理者の労働条件審査(2法人分)	432千円	AB 事業の必要性は高いが、28年度以降に実施 公契約条例の施行を踏まえて、審査のあり方を検討	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	
189	鳥の博物館	常設展の充実	生涯学習や社会教育の場として多くの人に活用してもらえよう、常設展の充実を図る。27年度は、利用者の目に触れる機会を増やすため、ホームページをリニューアルする。	・ホームページリニューアル ・タッチ式デジタルサイネージ ・案内用デジタルサイネージ ・フロウカメラ画像アーカイブシステム	4,827千円	A 事業の必要性は高い ふるさと手賀沼ふれあい計画推進基金を活用して実施	A 事業の必要性は高い ふるさと手賀沼ふれあい計画推進基金を活用して実施 案内用デジタルサイネージ、フロウカメラ画像アーカイブシステムは28年度以降に検討	3,203千円	A 同左	3,203千円	A 同左	3,203千円	
190	鳥の博物館	博物館施設設備の維持管理	鳥の博物館の老朽化した施設の補修や、設備の補修・更新を行う。	・事務室、バックヤードLED化工事 ・空調改修工事設計委託 ・非常放送設備交換修繕 ・館内LAN配線工事 ・手賀沼コーナー壁面修繕 ・企画展示室壁面修繕・パネル設置 ・炭酸ガス燻蒸殺虫バック設置工事	13,158千円	A 事業の必要性は高い ふるさと手賀沼ふれあい計画推進基金を活用して実施	A 事業の必要性は高い ふるさと手賀沼ふれあい計画推進基金を活用して実施 LED化工事、館内LAN配線工事、企画展示室壁面修繕・パネル設置は28年度以降に検討	5,185千円	A 同左	5,185千円	A 同左	5,185千円	
191	鳥の博物館	常設展示リニューアル(手賀沼文化拠点)	手賀沼文化拠点整備計画に基づき、鳥の博物館の常設展をリニューアルし、館内展示の魅力を高めて、来訪者を増やす。	・展示リニューアル基本計画の策定 ・展示リニューアル検討委員会の開催	3,070千円	AB 事業の必要性は高い 手賀沼公園・久等家線の進捗状況を見ながら実施時期を検討	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	
192	図書館	移動図書館業務	図書館に来館しにくい地域の居住者向けに、図書の出貸・返却・予約のサービスを行う。27年度は、老朽化している現在の移動図書館車両を買い替える。	・移動図書館車両の更新	16,610千円	AB 事業の必要性は高いが、28年度以降に実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	
193	図書館	図書館施設・設備維持管理	図書館施設・設備の維持管理を行う。27年度は、布佐分館において、都市計画道路の整備に伴い、駐車場の整備と、老朽化に伴う変圧器の交換を行う。また、アピスタ本館のブックチェックユニットの取替を行う。	・ブックチェックユニットの取替(アピスタ本館) ・変圧器の交換(布佐分館) ・駐車場の整備、看板設置、砂利の引き直し、区画線の張り替え(布佐分館)	9,135千円	A 事業の必要性は高い 変圧器のみ採択。駐車場については、布佐駅南側の都市基盤整備の進捗に合わせて実施	A 同左	3,921千円	A 事業の必要性は高い ブックチェックユニットの取替以外を採択	3,921千円	A 同左	3,921千円	